

平成30年・平成31年（令和元年）度 公開講座

平成30年度公開講座「60分でわかる少子高齢化」を開催いたしました。



7月14日(土) じばさん三重5F大研修室にて「60分でわかる少子高齢化」をテーマに公開講座を実施いたしました。（講師：東川薫教授）講座は、戦後の第1次ベビーブームから少子高齢化社会となった現在に至るまでが時系列に沿って語られ、その内容に参加者の方々は深くうなづくなどし、熱心に耳を傾けている様子うかがえました。終盤には未来予測、問題への対応策について話が及ぶと、「今後の日本に何が必要なかわかった」や「少子高齢化社会について対応策を考える良い機会になった」などの意見を頂戴し、参加者の皆様に良い学びの機会を提供できたのではないかと思います。また、今回で10回目を迎える本講座ですが、高校生の参加者が多かったことから幅広い層に浸透しつつあることが感じられ、今後も市民の皆様のニーズに沿ったテーマに基づく講演、セミナー等を実施したいと考えております。ご参加いただきました皆様をはじめ、広報活動にご協力くださいました皆様に心より御礼申し上げます。

令和元年度公開講座

「見逃さない！脳卒中の兆候に気づいて対応する！」を開催いたしました。



令和元年度の四日市看護医療大学公開講座は、「見逃さない！脳卒中の兆候に気づいて対応する！」と題して、7月13日に三重北西地場産業振興センターにて本学看護学科の杉崎一美教授が講演いたしました。

当日は地域にお住いの40名の方々にご来場いただき、大学や看護学科の紹介に始まり、脳卒中の種類や内容、その初期症状などの解説に基づき、日ごろから注意する点についての説明のほか、おかしいと感じたら「ACT FIRST（急いで119番）」の大切さなどを講演し、ご来場の皆様に熱心にお聴きいただきました。

令和元年度みえアカデミックセミナー

令和元年7月30日に三重県総合文化センターにて「みえアカデミックセミナー」に参加いたしました。「みえアカデミックセミナー」は県内の大学・短大・高専・放送大学を含めた高等教育機関との連携で生まれた公開セミナーです。本年は小児看護学領域の別所史子准教授が担当し、子どもは日々発達しているのも思ってもよらない事故が起きる可能性があることや、子どもの年齢によって起きやすい事故の特徴があるため、それぞれの成長に合わせた対応が必要であるとの説明がありました。また、子どもが誤って飲み込んでしまうと危険な物の中にはプチトマトなどもあり、身近な食材にも注意が必要なことなど、事故情報に敏感になり、各家庭に合わせた対策を立ててほしいこともあわせて紹介がありました。また、会場では家庭での子どもの事故予防に関する啓発グッズの紹介も行い、参加者の興味を集めていました。

